

# 東京のまちづくり

**特集1** 双子のジャイアントパンダを3日間限定で公開

**特集2** 木造住宅密集地域を改善する、命を守るみち  
～特定整備路線の整備推進～

**特別特集** 都市づくりの第一歩! ～東京都の用地取得～

ジャイアントパンダ双子の様子



特定整備路線 補助第136号線(足立区梅田)



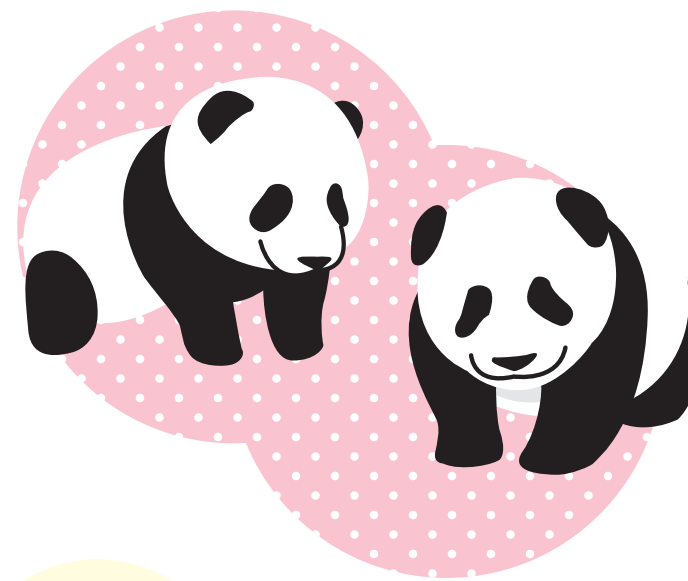
(出典)「国土地理院空中写真」(1989年11月及び2019年8月撮影)より作成

## 双子のジャイアントパンダを3日間限定で公開

双子のジャイアントパンダのシャオシャオとレイレイは順調に成長しています。まだまだ動きにはぎこちなさが残るものの、室内の木にずいぶん上手に登れるようになりました。また、母親のシンシンの真似をしているのか、タケを噛んで遊ぶ様子もよく見られています。レイレイは基本的に1頭で気ままに過ごし、シンシンやシャオシャオがそばにいても自分のペースを崩しません。一方、シャオシャオは近くにいる相手と積極的に関わろうとし、特にレイレイが何かをやっているとすぐに興味をもって近づいていきます。取っ組み合いに発展することも多いですが、擬木の上で2頭並んで寝るなど、微笑ましい姿も見せてくれています。



左:レイレイ、右:シャオシャオ(ともに201日齢)  
(撮影日:2022年1月10日)



恩賜上野動物園は2022年1月11日(火)から臨時休園していますが、1月12日(水)から14日(金)までの3日間、すでに当選をお知らせした方に向けて、シャオシャオとレイレイの観覧を実施しました。2頭とも来園者に特に驚く様子もなく、3日間ともいつもどおり過ごしていました。

しばらく動物園はお休みですが、双子の様子は定期的に当園の公式HPや公式Twitter、公式YouTubeチャンネルでお知らせしていますので、こちらもぜひご覧ください。

公式HP



公式Twitter



公式YouTube



### パズルフィーダー

上野動物園子供動物園係 仲村賢

パズルフィーダーって何だろう?と思う方もいらっしゃるかもしれません。パズルフィーダーとは、あえて動物たちにエサを取りにくくするための仕掛けです。かわいそう……と思われるかもしれませんが、本来、動物たちはエサを探して食べることに多くの時間を費やします。一方、動物園では簡単にエサが入ることから、短時間で食べ終わって暇を持て余してしまいます。そのためパズルフィーダーは、より時間をかけてエサを食べてもらうことで、動物福祉を向上させる手段のひとつなのです。

先日、子供動物園のウマたちにも自作したパズルフィーダーを導入しました。写真のフィーダーは丸太でできているように見えませんか?実はこれ、塩ビ管なのです。木製は人工物感がなく見た目はいいのですが、ウマがかじってすぐに壊してしまいます。そこで塩ビ管を傷つけ、表面を焼いて擬木のようにしました。また、塩ビ管をかけてある棒は可動で、ウマがつつくと回転します。つまり、塩ビ管内の草を追いかけるかたちで食べるのです。この試みはうまくハマリ、エサを食べる時間が延長したことで、ウマたちの動物福祉向上に資する効果を得られたと考えています。

現在はアイデアを広げ、他の担当動物にもパズルフィーダーを作成しようとしています。



### 動物園の“かお”

井の頭自然文化園  
アムールヤマメコ

2021年11月に韓国のソウル大公園から井の頭自然文化園にやって来たアムールヤマメコの「タリ」(オス)です。

